しらべてみよう！たいせつな水のこと

SEDIA Foundation

第1回 全国小学生「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテスト

入賞作品集

主催：公益財団法人 セディア財団

後援：全国市町村教育委員会連合会 ／ 全国連合小学校長会／
全国小学校社会科研究協議会 ／ 全国小学校理科研究協議会／
日本初等理科教育研究会 ／ 全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会／
全国新聞教育研究協議会 ／ 全国小中学校環境教育研究会

もくじ

主催者からのあいさつ……1
審査委員長総評……2
経過報告……3
審査結果……4
入賞作品ご紹介……7
応募校一覧……29
応募規定……31

主催者からのあいさつ

公益財団法人 セディア財団
理事長 渡邊 元

このたび、セディア財団では第1回全国小学生「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテストの入賞作品集を発刊することとなりました。このコンテストは、「水」について学び、考える機会を作りたいという想いからはじめました。そして、おかげさまで予想を上回る4，340作品が寄せられました。改めて、水が私たちにとって身近で、大切な存在であるということを実感いたしました。

ご応募いただいた作品は、どれも水について懸命に考え、工夫を凝らした力作で、その探究心に感心させられるものばかりでした。ぜひ、この取り組みをきっかけに、水への学びがさらに深まることを期待しております。

今、日本では、上下水道が整備され、きれいで安全な水を飲むことが当たり前ですが、世界に目を向けると必ずしもそうではありません。だからこそ、人々が生活するうえで欠かせないこの「水」の大切さを伝えるという必要性を強く感じております。未来の担い手となる、若い皆さんのためにも、来年度以降もこの取り組みを推進して参ります。これからもご支援、ご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

公益財団法人セディア財団より、賞状、記念盾、副賞の授与を行いました。

群馬県 桐生市立新里東小学校

山﨑　加琳さん　石原　桃子さん
市川　瑛夢さん　松島　功誠さん
福田　はなさん　桒原帆乃花さん
日下このはさん　小林陽夏乃さん

宮城県 仙台市立寺岡小学校

東京都 江東区立越中島小学校

審査委員長総評

日本体育大学児童スポーツ教育学部教授
角屋 重樹

今回の応募作品に対する審査委員の先生方の共通するコメントは次のようなものでした。

○どの作品も、子ども達の思いが感じられた。

○地域のおいしい水や、人間にとっての水の大切さなど、上下水道以外の異なった視点の作品があり、「わたしたちのくらしと水」というテーマをもとにして、水についてのいろいろなテーマを追究する姿があった。

○コンテストに参加した子ども達は、かべ新聞づくりを通して、水の大切さがわかり、それを支えたご家族も節水などについて真剣に考えるきっかけになることが感じられる作品であった。

○低学年では家族が協力しながら取り組んだような作品が、また、高学年ではグループでの作品もあり、同じ目的を持ってみんなが取り組んでいる姿を見ることができた。

○一つのテーマについて、一生懸命に調べたことをまとめていた。

特に、最優秀賞を受賞した作品は、水についていろいろな側面から調べ、それらを上手に整理していました。

これからは、事実だけを並べるのではなく、「それらの事実から何がわかったか」、「自分はどうするのか」を考えた作品が増えることを期待しています。

経過報告

作品募集

2015年5月下旬、全国の小学校5千校にご案内チラシ・ポスター・応募の手引きなどを送付するとともに、日本経済新聞『NIKKEIプラス1』（5月30日発行）に募集広告を掲載し、作品募集を開始しました。また、7月上旬には、後援各団体への募集協力依頼と、事務局（プラスエム）のネットワークを通じて全国の小学校に応募を呼びかけました。

応募総数

10月10日（土）の作品応募締め切り日までには、全国の小学生から4,340作品（158校）もの力作が集まりました。

応募部門	応募数
小学校低学年の部	184作品
小学校高学年の部	4,156作品
応　募　総　数	4,340作品

セディア財団特別賞の新設

第1回目の募集にもかかわらず、当初の予想を大幅に上回る4,340点もの優れた作品が寄せられたことを受けて、主催者では「セディア財団特別賞」（対象65作品）を新設しました。

一次審査会

［開催日］　10月22日（木）

部門（低学年／高学年）ごとに慎重な審査を行い、最終審査会ノミネート作品42点（低学年の部7作品、高学年の部35作品）と、セディア財団特別賞候補作品65点を選考。また、学校奨励賞には、優秀な作品を多数応募した学校2校の推薦を行いました。

最終審査会

［開催日・場所］　11月12日（木）　日本経済新聞社東京本社

一次審査会で絞り込まれたノミネート作品42点について厳正な審査を行い、各賞を決定しました。

※賞と賞品は31ページ参照

※一次審査会で選ばれた「セディア財団特別賞」候補作品65点を承認しました。

※一次審査会から推薦があった学校奨励賞2校を承認しました。

最終審査委員
（順不同・敬称略）

角屋 重樹	日本体育大学児童スポーツ教育学部教授（審査委員長）
北　俊夫	国士舘大学体育学部教授
坂本 正彦	全国小学校社会科研究協議会会長
関根 正弘	全国小学校理科研究協議会会長
齊藤　純	全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会会長
関口 修司	全国新聞教育研究協議会理事長
渡邊　元	公益財団法人セディア財団理事長

審査結果

最優秀賞

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
群馬県	桐生市立新里東小学校	6年	山﨑　加琳・石原　桃子 市川　瑛夢・柗島　功誠 福田　はな・桒原帆乃花 日下このは・小林陽夏乃	アクアタイムス

優秀賞

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
低学年の部				
岩手県	雫石町立下長山小学校	3年	櫻小路　葵	水新聞
千葉県	千葉市立都小学校	3年	新井　れな	水は宝物新聞
高学年の部				
富山県	砺波市立砺波東部小学校	4年	中山　慧羽	中山新聞　水問題特別号
青森県	青森市立堤小学校	6年	佐藤　祐希	日本一おいしい水あおもり

佳作

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
低学年の部				
東京都	北区立滝野川小学校	3年	中山　莉桜	水道水なぞとき新聞
愛知県	刈谷市立小高原小学校	3年	篠原　公樹	わたしたちのくらしと水
高学年の部				
東京都	墨田区立小梅小学校	4年	相原友季菜・松井　絹子	ワールドウォーター新聞
東京都	杉並区立桃井第四小学校	4年	吉武　心愛	水を守ろう
島根県	出雲市立北陽小学校	4年	岩橋奈都紀	斐伊川の水新聞
兵庫県	西宮市立香櫨園小学校	4年	大内　昭生・濵岡　諒太 横川　香花・相田　怜杏	水調べ実験新聞
徳島県	阿南市立桑野小学校	4年	東明　佑樹	わたしたちのくらしと水新聞 ぼくの家で使う水はどこからくるのかな？
千葉県	船橋市立飯山満小学校	5年	瀬戸　晴樹	わたしたちのくらしと水
岩手県	盛岡市立津志田小学校	6年	吉田　舜	くらしにかかせない水新聞
山形県	鶴岡市立朝暘第三小学校	6年	菅　紫の	VIOLET

努力賞

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
低学年の部				
東京都	墨田区立小梅小学校	3年	髙島　朱莉	べんり！！使いやすい！！水新聞
大阪府	大阪市立小松小学校	3年	中島もこな	わたしたちのくらしと水新聞
高学年の部				
青森県	五所川原市立三輪小学校	4年	奥田　大祐	おいしい水新聞
埼玉県	川口市立十二月田小学校	4年	長澤　伯	水新聞　夏号
埼玉県	狭山市立御狩場小学校	4年	佐藤　匠　・田島　美結 関口　成珠・金子　晴也	水新聞　私と水のくらし
埼玉県	星野学園小学校	4年	伊藤　莉心	水の命新聞　～かぎられた水について考えよう～
埼玉県	星野学園小学校	4年	小寺萌々葉	水新聞
千葉県	柏市立柏第一小学校	4年	白石　優空	水をまもる
千葉県	大多喜町立西小学校	4年	十河龍之介・稲熊　里 菅谷　由紀・渡邉　悠太	大切な水新聞
東京都	江東区立越中島小学校	4年	中原　充貴	大切な水新聞
東京都	墨田区立小梅小学校	4年	上原　快斗・中井　聖 皆川　幸生	水道まるわかり新聞
神奈川県	横浜市立桂小学校	4年	原　菜々香	水を知る新聞
神奈川県	藤沢市立天神小学校	4年	吉元　陽菜	水の旅新聞
愛知県	豊川市立小坂井東小学校	4年	佐藤　夏希	もっと大切にしよう！水新聞
京都府	京都市立山ノ内小学校	4年	伊坂　珠姫	水道水が出きるまで　浄水場新聞
兵庫県	西宮市立香櫨園小学校	4年	森　祐月・若田部奏汰 谷岡　莉穂・島本　将	大事な資源　水
千葉県	船橋市立飯山満小学校	5年	大隈　慧寧	フレンド　フレンド
群馬県	伊勢崎市立赤堀南小学校	5年	角橋和佳奈	みず新聞－用水路について学ぶ－
埼玉県	さいたま市立大東小学校	6年	五十嵐　滉	みず新聞
広島県	東広島市立造賀小学校	6年	松尾　風優	考えてみよう！水新聞

セディア財団特別賞（注）

（注）「セディア財団特別賞」は、応募作品数が当初の見込みを大幅に上回ったことと、優秀な作品が多かったことから、新たに設定された賞です。

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
低学年の部				
神奈川県	横浜市立小坪小学校	1年	富吉　紗希	おいしい水ができるまで
岐阜県	養老町立広幡小学校	1年	矢野　晴菜	みずしんぶん
岩手県	一関市立厳美小学校	2年	阿部ゆうり	水新聞
東京都	墨田区立小梅小学校	3年	田端ひかり	水を勉強新聞
愛知県	名古屋市立自由ケ丘小学校	3年	李　亜鑫	SEDIA環境新聞　わたしたちのくらしと水
高学年の部				
北海道	札幌市立東光小学校	4年	前田　夢乃	水のひみつ？！新聞
北海道	札幌市立東光小学校	4年	理﨑志えな	学ぼう！下水新聞
北海道	登別市立富岸小学校	4年	上島　那月・成田　葵 川口　諒大・加藤　世凪	水を大切にしよう！水道新聞
青森県	青森市立浪岡野沢小学校	4年	小山　朋果	水・人・自然　新聞
青森県	五所川原市立三輪小学校	4年	長谷川結那	水を大切にしよう新聞
宮城県	仙台市立寺岡小学校	4年	香川　幹央	リユースウォーター新聞
宮城県	仙台市立寺岡小学校	4年	須田　陽向	世界の水新聞
宮城県	仙台市立寺岡小学校	4年	横岡　莉乃	新　雨・こうずい新聞
茨城県	結城市立結城西小学校	4年	新澤　心花	かすみがうら新聞～ラクスマリーナ湖上体験をして～
埼玉県	星野学園小学校	4年	市ノ川未来	水巡り新聞
千葉県	市川市立塩焼小学校	4年	上埜　結夏・木村　果穂 佐藤　まゆ	水友新聞
千葉県	浦安市立美浜北小学校	4年	須川　紗希・岡田　千夏 佐藤　胡桃・石井　絵梨 市川　優夏	きれいな水新聞
千葉県	柏市立柏第一小学校	4年	一ノ瀬花穂	もっと水を大切に！！手賀沼新聞
千葉県	柏市立柏第一小学校	4年	綱川あすみ	すご！すご！水新聞
東京都	江東区立越中島小学校	4年	吉田　梓音	水を大切に使う工夫
東京都	杉並区立永福小学校	4年	荒井　夏葉	節水新聞
東京都	杉並区立高井戸小学校	4年	大内恵里子	水いろいろ新聞
東京都	豊島区立目白小学校	4年	齋藤　愛佳	水道の歴史新聞
東京都	小平市立小平第六小学校	4年	今　彩乃	水エコ新聞
神奈川県	横浜市立桂小学校	4年	秋葉ももこ	横浜の水新聞
神奈川県	藤沢市立天神小学校	4年	浅野　結	生活で使う水新聞
神奈川県	藤沢市立天神小学校	4年	井上　瑠香	水は旅する新聞
神奈川県	横須賀市立望洋小学校	4年	枇杷橋希実	たくさん知ろう！！水新聞
新潟県	新潟市立大通小学校	4年	田澤　祐衣	自然の水新聞
富山県	高岡市立平米小学校	4年	塩谷　絢音	水を大切にしよう新聞
長野県	長野市立篠ノ井西小学校	4年	千明伊都子	工夫がいっぱい浄水場新聞　わたしたちのくらしと水
長野県	長野市立昭和小学校	4年	小林　平実	水の事新聞
長野県	上田市立神科小学校	4年	柳澤みのり	とってもおいしい上田市の水しんぶん
静岡県	焼津市立大富小学校	4年	赤堀　真子	キラキラ水新聞
静岡県	焼津市立大富小学校	4年	加藤　朝陽	水の回路新聞
愛知県	稲沢市立坂田小学校	4年	服部　美優	よごれた水のゆくえ
愛知県	豊川市立小坂井東小学校	4年	及部ももこ	水の大切さ伝えま新聞
愛知県	豊川市立桜町小学校	4年	増田　陽日	水道新聞
三重県	桑名市立多度青葉小学校	4年	石川　煌女	学べる水新聞
京都府	京都教育大学附属桃山小学校	4年	西田　翔太	伏見の名水しんぶん
大阪府	寝屋川市立桜小学校	4年	上堀　華凜	水を大切に水新聞
大阪府	寝屋川市立桜小学校	4年	渡邉　藍子	水のふしぎ水新聞
兵庫県	神戸市立花山小学校	4年	村岡　真帆	一てきの水新聞
兵庫県	加西市立富合小学校	4年	西村　美晴	みんなの水新聞
兵庫県	川西市立久代小学校	4年	藤木　亮汰・岸上　虎楠 海田　美優	水は大切に新聞
兵庫県	宝塚市立高司小学校	4年	石田　敦也・秦　颯大 廣田　葵　・山田　麗奈	水・水・水（ウォーターすいすい）新聞
奈良県	桜井市立安倍小学校	4年	吉本もあな	ウォーター新聞
広島県	広島市立船越小学校	4年	地主　琉那	水新聞
広島県	広島市立船越小学校	4年	浜田　真衣	ウォーター新聞
広島県	庄原市立永末小学校	4年	藤岡　美優	知ってた？水新聞
広島県	府中町立府中南小学校	4年	西川　遥	命とくらしの大切な水新聞
広島県	府中町立府中南小学校	4年	槇尾　祐月	きれいな水道水新聞
徳島県	徳島市渋野小学校	4年	太田菜々香・新居なな帆	節水新聞（No.1／No.2）
徳島県	徳島市渋野小学校	4年	前垣　紗那・森　彩衣	人と水のかかわり新聞
熊本県	氷川町立宮原小学校	4年	篠田　楓華	たんけん！浄水場新聞
鹿児島県	鹿児島市立鴨池小学校	4年	馬場　大誠	水の大切さ
鹿児島県	鹿児島市立吉野小学校	4年	中村　梨乃・十島さくら	おしえて！！水のひみつ新聞
千葉県	船橋市立飯山満小学校	5年	楢崎　陽菜	水を大切に新聞
東京都	足立区立梅島小学校	5年	西本　凜	水の新聞
愛媛県	新居浜市立金子小学校	5年	渡邊　翼	水の【事に関する人・できる場所・つかい道】新聞
福岡県	筑紫野市立原田小学校	5年	手塚　伊吹	くらしと水新聞
千葉県	市川市立稲荷木小学校	6年	近藤　希音	わたしと水新聞
長野県	茅野市立金沢小学校	6年	北原　結和・小松恵利奈 小平くるみ	水とくらし新聞
大阪府	箕面市立東小学校	6年	吉田菜々花	世界の水
広島県	東広島市立造賀小学校	6年	日名田美空	水のゆくえ新聞

学校奨励賞

都道府県	学校名
宮城県	仙台市立寺岡小学校
東京都	江東区立越中島小学校

入賞作品ご紹介

最優秀賞	1作品
優秀賞	4作品
佳作	10作品
努力賞	20作品

第1回 ありがとうございます!! 全国から4,340作品の応募をいただきました!

SEDIA Foundation

全国小学生かべ新聞コンテストの「最優秀作品」の発表です。

※写真中のかべ新聞は応募作品を拡大コピーしています。

先着1,000名様に

第1回全国小学生かべ新聞コンテスト 入賞作品集をプレゼント!

子どもたちの「水」への想いがいっぱいにつまったかべ新聞が1冊の冊子になりました。今回、ご応募いただきました4,340作品の中から選ばれた上位入賞作品の内容と全ての受賞作品をとりまとめた作品集です。ぜひ、この機会に子どもたちの水への思いに触れてみませんか。

※1月末発送予定

【応募締め切り】2016年1月15日(金)

【作品集のご応募】
全国小学生「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテスト事務局(株式会社プラスエム内)
※祝日を除く月曜日～金曜日 10:00～17:00
電話:03-6222-5251 FAX:03-6222-4823 Eメール:mizu-shinbun@plus-m.co.jp

最優秀作品賞
「アクアタイムズ」
桐生市立新里東小学校 6年生
山崎 加琳さん　石原 桃子さん
市川 瑛夢さん　柏島 功誠さん
福田 はなさん　桑原 帆乃花さん
日下 このはさん　小林 陽夏乃さん

コンテストの結果発表についてはセディア財団HPでご確認いただけます。
セディア財団 検索

水の大切さを誰よりも考えているのは子供たちでした。

私たちセディア財団は、水や自然からの学びをよりよい未来づくりへ活かしたいという想いからスタートしました。いつの世であっても、自然との共存なくして、しあわせな暮らしは成り立ちません。自然のことをもっと考えよう。そのきっかけとして、私たちは、「水」をテーマにしたかべ新聞コンテストを企画したのです。対象は全国の小学生。自由な発想で考え、みんなで調べ、その成果を1枚の新聞にまとめて発表してもらうのです。私たちの呼びかけに全国から4340もの力作が集まりました。どの小学生も純粋な目で水をみつめ、尊さを説き、水への感謝をつづっています。どの作品も視点が斬新で、表現がユニークで、思わぬ発見がいたるところにあって、読んでいるほどに大人の方が身をただしたくなるほどです。自然へ向きあう子どもたちの真摯な姿勢こそ、たしかな未来づくりへの財産。私たちは来年も再来年もかべ新聞コンテストを開催していく決意を新たにしました。最後に今回の優秀作品の数々を1冊の冊子にまとめました。ぜひとも子どもたちの水と自然への想いにふれていただければ幸いです。

公益財団法人 セディア財団
〒104-0045 東京都中央区築地5丁目6番10号 浜離宮パークサイドプレイス6F tel. 03-3549-3090 fax. 03-5565-6374 http://www.sedia-found.org/

2015年（平成27年）12月19日発行　日本経済新聞「NIKKEIプラス1」掲載

最優秀賞（セティア財団賞）

「アクアタイムス」

群馬県　桐生市立新里東小学校　六年

山崎加琳・石原桃子
市川瑛夢・柗島功誠
福田はな・桒原帆乃花
日下このは・小林陽夏乃

受賞者の声

水についてのいろいろな資料を読んでどんなことを記事にするのかを考えたり、家で書くだけでなく休み時間や放課後などを使って新聞を仕上げたりしたので、出来上がったときは達成感がものすごくありました。そして、最優秀賞に選ばれたのを聞いて最初に思ったのは、「みんなで協力して作ったかいがあったな」ということでした。

この新聞を作ることは、水の大切さがわかる貴重な体験でした。「この新聞を読んだ人に水の大切さが伝わればいいな」と思っています。

選評

水の大切さを多方面から取材し、それらの内容が紙面に構造的に構成されています。大変優れた作品です。特に見出しの付け方がうまく、かべ新聞の読者に対して訴える力があります。グループのメンバーがそれぞれに役割を分担し、協力し合ってかべ新聞づくりに取り組んだ様子が伺えます。

指導の先生から

子どもたちに「何気なく使っている水のありがたさ」を知ってほしいと思い、夏休みを使って新聞作りに取り組みました。

どの子も、水に関する体験や節水に取り組んでから記事を書きました。私も子ども達も、知らなかったことがたくさんあり勉強になりました。

この新聞を読んで、少しでも多くの人が水の大切さに気づいてもらえるとうれしいです。

優秀賞

「水新聞」

岩手県　雫石町立下長山小学校　三年

櫻小路　葵

選評

水の循環や外国の水事情について、自分の言葉で大変分かりやすく表現されています。見出しの付け方や記事の構成にも工夫が見られます。イラストも効果的に配置されていて、全体として見やすい作品に仕上げています。

受賞者の声

私は『水』についてみんなに分かりやすく伝えるために、調べたり、まとめたりするのがとても大変だったけど、全国で優秀賞となってすごくうれしかったです。色々調べてみて、外国の人たちは、日本のように安全な水じゃなくて汚い水を使っていることが分かり、外国の人たちは、安心して水が飲めないのがとてもかわいそうだと思いました。私たちは、水道のじゃぐちをひねればきれいな水を飲めます。そのありがたさを忘れず、これからは水を大事にしていきたいです。

優秀賞

「水は宝物新聞」

千葉県　千葉市立都小学校　三年

新井れな

選評

おばあちゃんが使っている様子を観察したり、水の使い方を実験したりして、毎日の生活で使われている水を身近に調べ、それをもとに記事を構成しています。見出しや写真の配置にも工夫が見られる優れた作品です。

受賞者の声

ゆうしゅう賞にえらばれて、とてもびっくりしました。色えん筆を使い、水をイメージした、ポタリちゃんを描きました。この新聞を読んだ人が水の大切さを知り、新しい工夫を発見してくれたらうれしいです。

優秀賞

「中山新聞　水問題特別号」

富山県　砺波市立砺波東部小学校　四年

中山　慧羽

選評

水問題を地球環境や国際紛争など、地球的視野から調べているところに特色があります。それらの内容を踏まえて、水のことを私たちの問題として考えようと訴えています。記事の構成が四年生としてレベルの高い作品に仕上がっています。

受賞者の声

かべ新聞を作っておうぼしたのは、初めてだったので、受賞はとてもうれしいです。読みたいなと思ってもらえるように見出しを工夫しました。楽しんで作れたので、次は、本物の新聞のようにたくさんの話題を取り上げたいです。

優秀賞

「日本一おいしい水あおもり」

青森県　青森市立堤小学校　六年

佐藤　祐希

選評

地元の水のおいしさの秘密を成分、水源、浄水場といった観点から調べて、その内容が紙面に効果的に配置されています。説得力のあるものになっているだけでなく、地域を大切にしようとする心を育てる内容にもなっています。

受賞者の声

このような大きな賞をいただいて、とてもうれしく思います。これを機会に青森の水のおいしさを知ってもらいたいです。

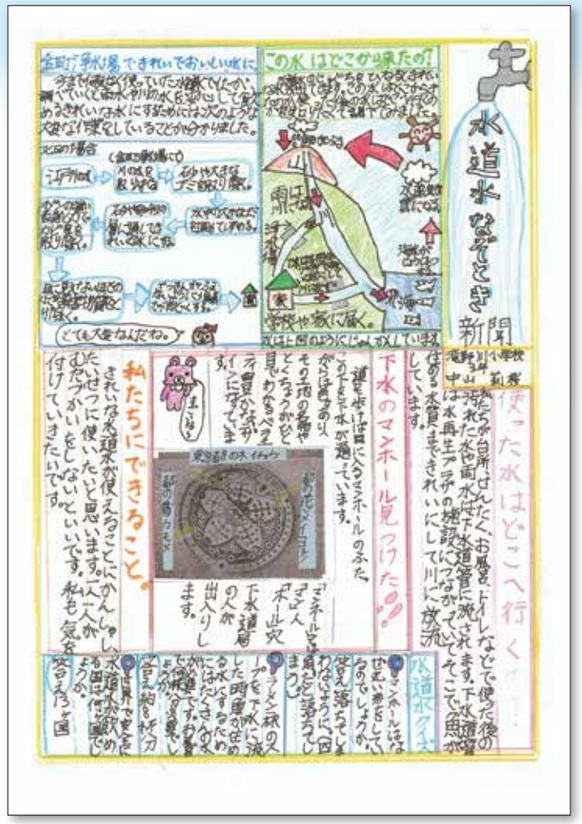
低学年の部

佳作

「水道水なぞとき新聞」

東京都　北区立滝野川小学校　三年

中山　莉桜



選評

問いかけを通して、読み手に伝えたい安全な水道水がどうやってできるかや、大切に使いたいという自分の考えを分かりやすく表現できています。

「わたしたちのくらしと水」

愛知県　刈谷市立小高原小学校　三年

篠原　公樹

選評

新聞という形にとらわれず、水を大切にしたい、そのためには、海、山、川、木といった自然も大切にし、使い方も工夫したいという思いを強く伝えています。

高学年の部

佳作

「ワールドウォーター新聞」

東京都　墨田区立小梅小学校　四年

相原　友季菜

松井　絹子

選評

驚きや疑問について調べ、分かりやすくまとめています。また、実際に給食室の取材をしていることが素晴らしいです。丁寧な文字とカラフルな紙面が目立ちました。

「水を守ろう」

東京都　杉並区立桃井第四小学校　四年

吉武　心愛

選評

地域の川に入って調べた体験をもとに、水をきれいにする工夫や、水の大切さを分かりやすく伝えています。カラフルな紙面と見出しの工夫が読みやすさにつながっています。

高学年の部

佳作

「斐伊川の水新聞」

島根県　出雲市立北陽小学校　四年

岩橋　奈都紀

選評

地域を流れる川を上流から下流まで訪ねて、川床の砂の粒の大きさを調べたり、ダムや発電所などの施設を調べたりした、取材の努力が光りました。

高学年の部

佳作

「わたしたちのくらしと水新聞　ぼくの家で使う水はどこからくるのかな？」

徳島県　阿南市立桑野小学校　四年

東　明佑　樹

選評

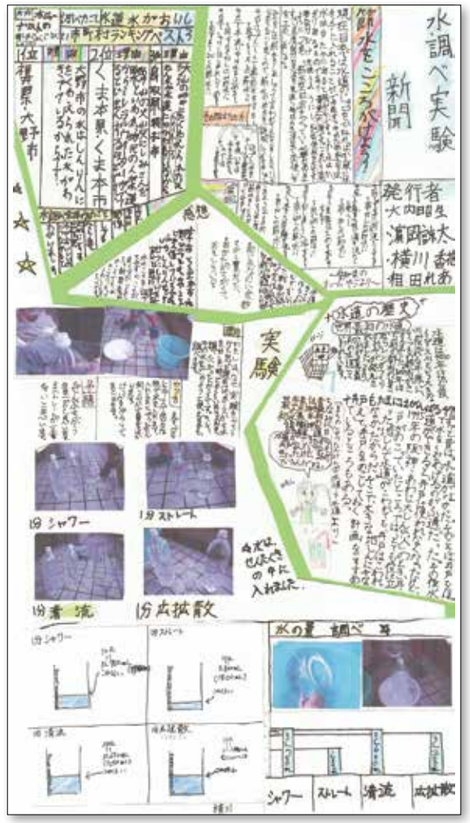
自宅で使う水のもとを、自らの足でたどり、目で見て、耳で聞いて、取材した内容が新聞にまとめられています。見出しを工夫すると、さらに読みやすくなります。

「水調べ実験新聞」

兵庫県　西宮市立香櫨園小学校　四年

大内　昭生・濵岡　諒太

横川　香花・相田　怜杏



選評

四人が協力して新聞を作りました。テーマはまちまちですが、子供らしい疑問の解決に真剣に取り組む様子やユニークな実験が目を引きました。

「わたしたちのくらしと水」

千葉県　船橋市立飯山満小学校　五年

瀬戸　晴樹

選評

「なるほど」と思える興味深い記事が掲載され、丁寧な文字と分かりやすい文章でまとめられています。テーマを絞ると、さらに統一感が生まれます。

高学年の部

佳作

「くらしにかかせない水新聞」

岩手県　盛岡市立津志田小学校　六年

吉田　舜

選評

「消火活動と水」にテーマを絞り、取材をもとにしてまとめたことで、分かりやすい新聞になりました。誰に取材したかを明記するといいですね。

「VIOLET」

山形県　鶴岡市立朝暘第三小学校　六年

菅　紫の

選評

読む人の目を引き付ける色使いや見出しの文字に加え、イラストやグラフも効果的に使っています。記事の見出しを複数にすると、さらに内容が伝わります。

低学年の部

努力賞

「べんり!! 使いやすい!! 水新聞」

東京都　墨田区立小梅小学校　三年

髙島　朱莉

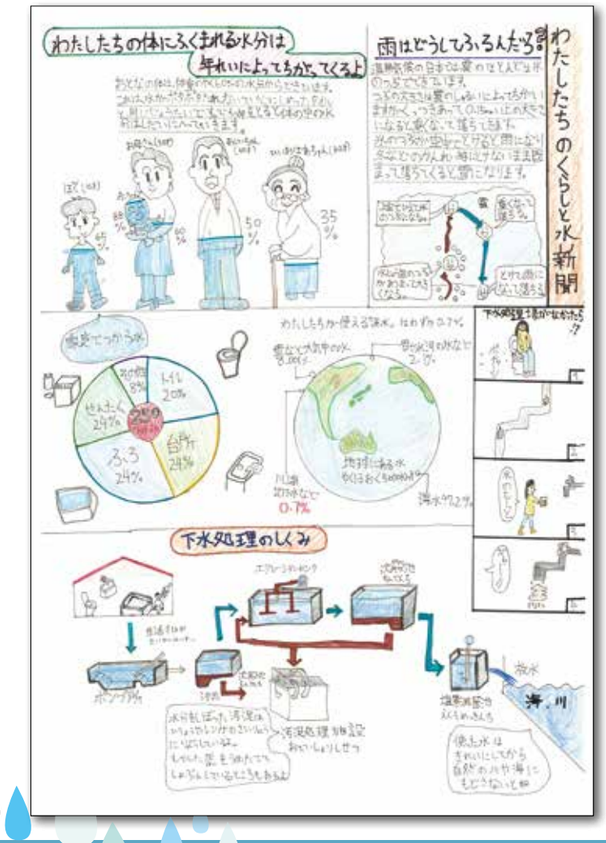
選評

新聞づくりを通して、これまでの自分の生活を振り返り、水を大切に使うために、これから自分がどのような努力をしようと思っているのかが伝わってきました。

「わたしたちのくらしと水新聞」

大阪府　大阪市立小松小学校　三年

中島　もこな



選評

新聞を作るためにたくさん調べ、そのことを人に伝えようと、絵や図を上手に使っているところが素晴らしいです。自分がどう考えたのかがあれば、さらによかったと思います。

高学年の部

努力賞

「おいしい水新聞」

青森県　五所川原市立三輪小学校　四年

奥田大祐

選評

地域の誇りである「おいしい水」のことを何とか伝えようと、上手な見出しで読み手を引きつけています。水を大切にしたいという三つの考えが素晴らしいと思います。

「水の命新聞　夏号」

埼玉県　川口市立十二月田小学校　四年

長澤伯

選評

私たちの生活がどれだけ水に依存しているかがよく分かります。読み手を引きつける問いかけや絵や図を工夫し、自分の考えがしっかりまとめられています。

高学年の部

努力賞

「水新聞　私と水のくらし」

埼玉県　狭山市立御狩場小学校　四年

佐藤　匠・田島　美結
関口　成珠・金子　晴也

選評

自分たちの生活と水が大変密接に関係していることをよく調べ、漫画やクイズなど読み手を引きつけて理解してもらうための工夫がよくされています。

「水の命新聞～かぎられた水について考えよう～」

埼玉県　星野学園小学校　四年

伊藤莉心

選評

題名の「水の命新聞～かぎられた水について考えよう～」をテーマに、限りある水の大切さを訴えています。主張に沿った見出しを考えていて、説得力があります。

高学年の部

努力賞

「水新聞」

埼玉県　星野学園小学校　四年

小寺　萌々葉

選評

昔の人々の生活と水との関係という視点で調べた新聞は、他の作品にない視点で新鮮でした。歴史的な視点で水を調べる見方がユニークです。

「水をまもる」

千葉県　柏市立柏第一小学校　四年

白石　優空

選評

水と人間の体との関係、地球の中における貴重な水の役割から水の大切さを訴えている新聞です。水を守る大切さがよく分かりました。

高学年の部

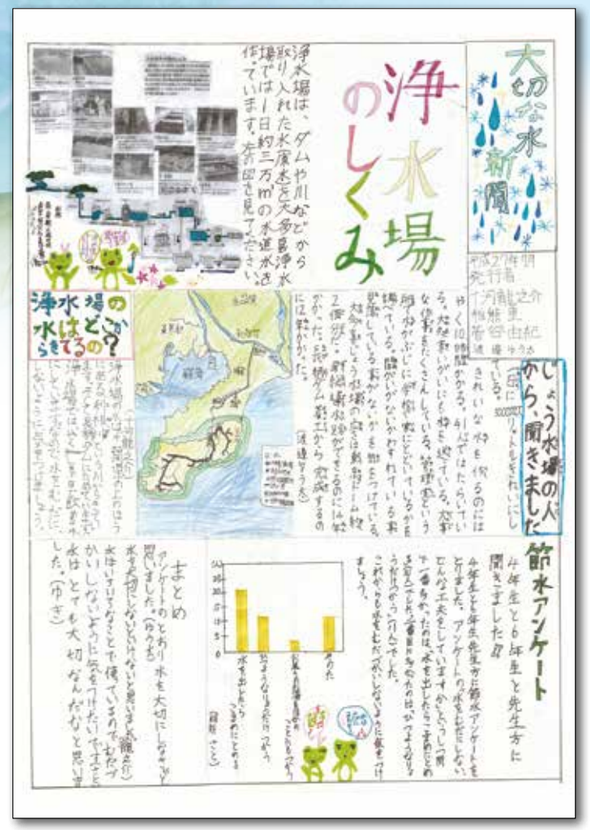
努力賞

「大切な水新聞」

千葉県　大多喜町立西小学校　四年

十河龍之介・稲熊　里

菅谷　由紀・渡邉　悠太



選評

四人の子供たちが分担して協力して作った新聞で、水の大切さを訴える内容となっています。節水アンケートをとったことも効果的です。

「大切な水新聞」

東京都　江東区立越中島小学校　四年

中原　充貴

選評

水を貯えきれいにする水源林のしくみが、絵や文を使ってよく分かります。最後のまとめで、水の大切さと水を有効に使う大切さを訴えている点も印象に残ります。

高学年の部

努力賞

「水道まるわかり新聞」

東京都　墨田区立小梅小学校　四年

上原　快斗・中井　聖

皆川　幸生

選評

人間の体内にある水や、水道水に入っている水の成分を調べ、水は人間が生きていくためになくてはならないものだということがよく分かる新聞です。

「水を知る新聞」

神奈川県　横浜市立桂小学校　四年

原　菜々香

選評

川の水に関わる環境問題や地形を調べ、編集後記に書いてある「水と人間の上手な付き合い方」という考え方を導き出したのは独創的でした。

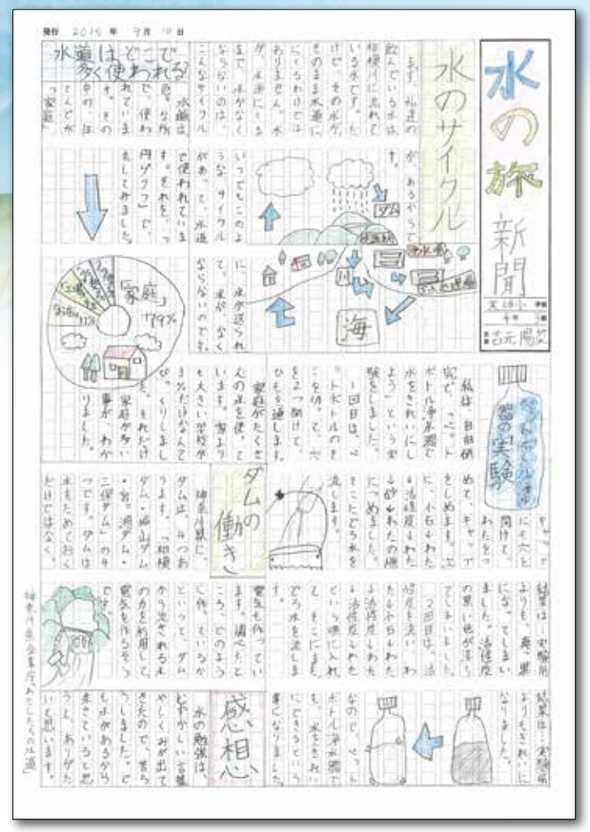
高学年の部

努力賞

「水の旅新聞」

神奈川県　藤沢市立天神小学校　四年

吉　元　陽　菜



選評

水が無くならない自然のしくみを知り、自作の浄水器を作って確かめています。きれいな水を得る大変さがよくまとめられています。

「もっと大切にしよう！水新聞」

愛知県　豊川市立小坂井東小学校　四年

佐　藤　夏　希

選評

浄水場を見学し、たくさん質問をして学んで来たことを、働く人の頑張りと金魚に焦点を当て、分かりやすくまとめられています。

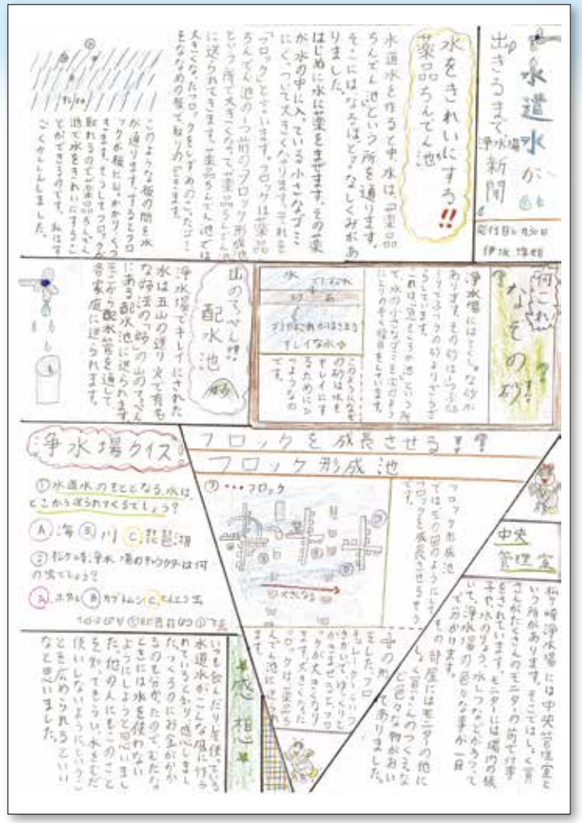
高学年の部

努力賞

「水道水が出きるまで　浄水場新聞」

京都府　京都市立山ノ内小学校　四年

伊坂　珠姫



選評

きれいな水を作る際に、なるほどと思うような仕組みがあることに気付き、他の人にも知ってもらいたいという思いがよく伝わってきました。

「大事な資源　水」

兵庫県　西宮市立香櫨園小学校　四年

森　祐月・若田部奏汰

谷岡　莉穂・島本　将

選評

水をきれいにする仕組みや、きれいな水のありがたさがよくまとめられています。読者にあらためて節水を心がけようと思わせるような内容です。

高学年の部

努力賞

「フレンド　フレンド」

千葉県　船橋市立飯山満小学校　五年

大隈　慧寧

選評

水の役割や水の力、水の種類と様々な視点で上手にまとめられています。水に感謝する気持ちも紙面によく表れています。

「みず新聞 ― 用水路について学ぶ ―」

群馬県　伊勢崎市立赤堀南小学校　五年

角橋　和佳奈

選評

今ある大地の恵みは、水不足に苦しんだ先人たちの努力のおかげであることを知り、「女堀」を題材によくまとめられています。

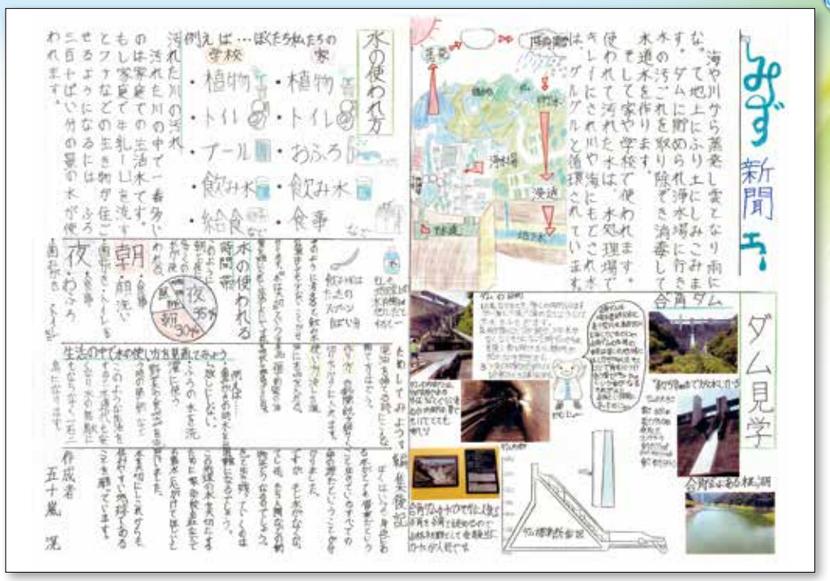
高学年の部

努力賞

「みず新聞」

埼玉県　さいたま市立大東小学校　六年

五十嵐　滉



選評　川の汚れには家庭から出る生活排水が大きく関わっていることを調べ、古新聞の活用や節水の方法、再利用法などを具体的に提案しています。

「考えてみよう！ 水新聞」

広島県　東広島市立造賀小学校　六年

松尾　風優

選評　生活が便利になるにつれて美しい自然が壊されていることを、水の使い方を通して、昔の生活と比べながら分かりやすく伝えています。

応募校一覧

都道府県	学校名
東京都	江戸川区立東小岩小学校
	北区立滝野川小学校
	江東区立越中島小学校
	杉並区立永福小学校
	杉並区立高井戸小学校
	杉並区立桃井第四小学校
	墨田区立小梅小学校
	中央区立京橋築地小学校
	豊島区立目白小学校
	目黒区立駒場小学校
	目黒区立中目黒小学校
	稲城市立城山小学校
	小平市立小平第六小学校
	東久留米市立第五小学校
	聖徳学園小学校
神奈川県	横浜市立青木小学校
	横浜市立桂小学校
	横浜市立小坪小学校
	横浜市立鶴見小学校
	横浜市立日吉南小学校
	横浜市立本町小学校
	相模原市立大島小学校
	藤沢市立長後小学校
	藤沢市立天神小学校
	横須賀市立望洋小学校
新潟県	新潟市立大通小学校
	小千谷市立片貝小学校
	三条市立大崎小学校
	上越市立上雲寺小学校
富山県	高岡市立平米小学校
	砺波市立砺波東部小学校
長野県	長野市立篠ノ井西小学校
	長野市立信田小学校
	長野市立昭和小学校
	上田市立神科小学校
	岡谷市立田中小学校
	茅野市立金沢小学校
	松本市立芳川小学校
	辰野町立辰野西小学校
	白馬村立白馬北小学校

都道府県	学校名
北海道	札幌市立東光小学校
	登別市立富岸小学校
	秩父別町立秩父別小学校
青森県	青森市立堤小学校
	青森市立浪岡野沢小学校
	五所川原市立三輪小学校
岩手県	盛岡市立津志田小学校
	一関市立厳美小学校
	雫石町立下長山小学校
	平泉町立平泉小学校
宮城県	仙台市立沖野東小学校
	仙台市立寺岡小学校
山形県	鶴岡市立朝暘第三小学校
	東根市立東根中部小学校
福島県	田村市立古道小学校
茨城県	つくば市立沼崎小学校
	坂東市立神大実小学校
	守谷市立松前台小学校
	結城市立結城西小学校
群馬県	伊勢崎市立赤堀南小学校
	桐生市立新里東小学校
埼玉県	さいたま市立大東小学校
	川口市立十二月田小学校
	川口市立前川東小学校
	星野学園小学校
	久喜市立砂原小学校
	狭山市立御狩場小学校
	深谷市立豊里小学校
	富士見市立水谷東小学校
千葉県	千葉市立千城台西小学校
	千葉市立都小学校
	市川市立稲荷木小学校
	市川市立塩焼小学校
	市原市立有秋東小学校
	浦安市立美浜北小学校
	柏市立柏第一小学校
	袖ヶ浦市立平岡小学校
	船橋市立飯山満小学校
	大多喜町立西小学校
東京都	足立区立梅島小学校

応募規定

タイトル

第1回 全国小学生「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテスト

主　催

公益財団法人 セディア財団

後　援

全国市町村教育委員会連合会、全国連合小学校長会、全国小学校社会科研究協議会、全国小学校理科研究協議会、日本初等理科教育研究会、全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会、全国新聞教育研究協議会、全国小中学校環境教育研究会

テーマ

「わたしたちのくらしと水」
〈テーマ例〉
○ 学校や家で使う水はどこからくるのかな？
○ 使ったあとの水はどうなるの？
○ 水をたいせつに使うためのくふう
○ 植物や作物などを上手に育てる水のやり方
○ 水のパワーをくらしに活かす方法
○ 世界の国々の水の使い方
○ 井戸ってなに？むかしの水とくらし
○ もしも水道がなかったら？

応募方法

1．応募作品には1点ごとに、次の事項を明記した応募票を添付してください。
①応募部門　②作品の題名　③学校名・学年
④氏名（グループの場合は全員の氏名）
⑤学校住所・電話番号　⑥担当教諭名
※裏面の応募票をご利用ください。
※学校でまとめて応募する場合、封筒の表面に「応募部門ごとの点数」を大きく朱書きしてください。
※応募票はセディア財団またはプラスエムのホームページからもダウンロードできます。
2．作品は新聞形式のもので、もぞう紙・学習新聞用紙など大きさは自由とします（タテ書き・ヨコ書き自由）。
なお、低学年の部では、絵日記風の新聞でも可とします。
3．画材は自由で、カラーでもモノクロでも自由。また、イラスト・マンガ・写真などを入れることも自由です。
4．手書きまたはパソコン・デジタルカメラ等の使用も自由です。

応募部門

低学年の部（小学1年生～3年生）
高学年の部（小学4年生～6年生）

締め切り

2015年10月10日（土）（当日消印有効）

発表

12月予定 日本経済新聞「NIKKEIプラス1」広告紙面／主催者及び運営事務局のホームページ

賞と賞品

1）個人賞・グループ賞
1．最優秀賞：全応募作品から1作品
賞状、記念盾、副賞（図書カード5万円分）
2．優秀賞：低学年の部・高学年の部、
合計4作品　賞状、記念盾、副賞
（同2万円分）
3．佳　作：低学年の部・高学年の部、
合計10作品
賞状・副賞（同2,000円分）
4．努力賞：低学年の部・高学年の部、
合計20作品
賞状、副賞（同1,000円分）
2）学校賞
学校奨励賞　　2校
賞状、記念盾、副賞（図書カード5万円分）
3）参加賞
応募者全員に記念品
※応募規定にはありませんが、応募作品数が当初の見込みを大幅に上回ったことと、優秀な作品が多かったことから、「セディア財団特別賞」を新設しました。

応募校一覧

都道府県	学校名
兵庫県	宝塚市立高司小学校
	西宮市立香櫨園小学校
	姫路市立広峰小学校
	南あわじ市立福良小学校
	南あわじ市立八木小学校
奈良県	桜井市立安倍小学校
和歌山県	和歌山市立雑賀小学校
島根県	松江市立古江小学校
	出雲市立北陽小学校
鳥取県	八頭町立郡家西小学校
岡山県	岡山市立芥子山小学校
	瀬戸内市立牛窓東小学校
	新見市立思誠小学校
広島県	広島市立五日市観音西小学校
	広島市立船越小学校
	広島市立古田台小学校
	広島大学附属小学校
	呉市立坪内小学校
	庄原市立永末小学校
	東広島市立造賀小学校
	府中町立府中南小学校
徳島県	徳島市渋野小学校
	阿南市立桑野小学校
愛媛県	宇和島市立吉田小学校
	新居浜市立金子小学校
福岡県	福岡市立東月隈小学校
	筑紫野市立原田小学校
	宗像市立河東西小学校
佐賀県	佐賀市立春日北小学校
熊本県	熊本市立富合小学校
	氷川町立宮原小学校
	益城町立広安西小学校
	南阿蘇村立南阿蘇西小学校
鹿児島県	鹿児島市立鴨池小学校
	鹿児島市立八幡小学校
	鹿児島市立吉野小学校
沖縄県	宜野湾市立大謝名小学校
	名護市立名護小学校

合計 158校

都道府県	学校名
岐阜県	養老町立広幡小学校
静岡県	静岡市立葵小学校
	伊東市立宇佐美小学校
	掛川市立上内田小学校
	浜松市立有玉小学校
	浜松市立庄内小学校
	藤枝市立瀬戸谷小学校
	焼津市立大富小学校
愛知県	名古屋市立自由ヶ丘小学校
	稲沢市立坂田小学校
	岡崎市立常磐小学校
	刈谷市立小高原小学校
	豊明市立三崎小学校
	豊川市立小坂井東小学校
	豊川市立桜町小学校
	豊橋市立岩田小学校
三重県	桑名市立多度青葉小学校
京都府	京都市立大塚小学校
	京都市立桃山小学校
	京都教育大学附属桃山小学校
	京都市立山ノ内小学校
	立命館小学校
	亀岡市立西別院小学校
	長岡京市立長法寺小学校
大阪府	大阪市立小松小学校
	大阪市立滝川小学校
	大阪市立東中浜小学校
	堺市立新浅香山小学校
	寝屋川市立桜小学校
	羽曳野市立高鷲小学校
	箕面市立東小学校
	八尾市立南高安小学校
	太子町立磯長小学校
兵庫県	神戸市立伊川谷小学校
	神戸市立花山小学校
	赤穂市立高雄小学校
	加古川市立上荘小学校
	加古川市立平荘小学校
	加西市立富合小学校
	川西市立久代小学校

水と未来。

知る。感じる。学ぶ。守る。

水から学んだこと。
自然から学んだこと。
未来にとって大切なこと。

さあ、一緒に話し合いましょう。

自然からの学びを、よりよい未来づくりへ。セディア財団はさまざまな活動を展開しています。

人は自然とともに暮らし、自然から多くのことを学んで大人になってきました。しかし利便性や効率だけを優先して突き進むわたしたちの社会は、便利になったけれど、その分、自然と接する場所がどんどん消えている状況にあります。これはしあわせな状況なのでしょうか？いつの時代も、自然は偉大な教師。自然との共存なくして、しあわせな暮らしは成り立ちません。大切なのは、気づくことです。セディア財団は気づきの場になることからはじめます。すべての生き物の命の源であり、すべてのはじまりである「水」を中心に、自然の大切さ、自然からの学びの尊さを発信し、学びの場となる活動を行っています。「かべ新聞コンテスト」の開催もそのひとつ。かべ新聞の制作を通して、子どもたちに“水の大切さ”に気づいてほしいという願いを込めてスタートいたしました。自然へ向きあう子どもたちの真摯な姿勢こそ、たしかな未来づくりへの財産。自然からの学びを、よりよい未来づくりへ活かすために、セディア財団はさまざまな活動を展開しています。これからのセディア財団に、どうぞご期待ください。

SEDIA Foundation

公益財団法人 セディア財団
〒104-0045 東京都中央区築地5丁目6番10号　浜離宮パークサイドプレイス6F
TEL：03-3549-3090　FAX：03-5565-6374
http://www.sedia-found.org

〈お問い合わせ先〉
全国小学生「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテスト事務局（プラスエム内）
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3-17-6　群成舎八丁堀ビル 6 階
TEL：03-6222-5251　FAX：03-6222-4823　E-mail：mizu-shinbun@plus-m.co.jp